

鹿兒島工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	英語Ⅲ B
科目基礎情報					
科目番号	0032		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	情報工学科		対象学年	3	
開設期	後期		週時間数	4	
教科書/教材	Provision English Communication II (桐原書店)、Workbook (桐原書店)、ATLAS English Grammar and Expressions(桐原書店)、アトラス総合英語 English Grammar Navigator in 27 Lessons(桐原書店)〔参考書・補助教材〕、ワークブック、英和辞典、理工系学生のための科学技術英語 語彙編 (南雲堂)夢をかなえる英単語 新ユメタン 1 (アルク)、CD BOOK Sherlock Holmes(桐原書店)、[オンライン教材]				
担当教員	アニス ウル・レーマン				
到達目標					
1. 内容やテーマについて説明できる。 2. 各文法項目の用法を知り、日本語に翻訳できる。 3. 話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。 4. Intro、Body、Conclusion の3部構成から成る1パラグラフのエッセイを書くことができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	内容やテーマについて、深く理解し、適切に説明することができる。		内容やテーマについて、ある程度理解し、ある程度説明することができる。		内容やテーマについて、理解しておらず、説明ができない。
評価項目2	各文法項目の用法を深く知り、適切な日本語に翻訳できる。		各文法項目の用法をある程度理解し、日本語に翻訳ある程度翻訳できる。		各文法項目の用法の理解がなされておらず、適切な日本語に翻訳することができない。
評価項目3	話し手・書き手の意図を深く理解し、音声・文字で適切な応答ができる。		話し手・書き手の意図に対して、ある程度理解し、音声・文字である程度応答ができる。		話し手・書き手の意図が理解できず、音声・文字で適切に応答ができない。
評価項目4	パラグラフの構成を十分に理解し、Intro、Body、Conclusion の3部構成から成る1パラグラフのエッセイを適切に書くことができる。		パラグラフの構成をある程度理解し、Intro、Body、Conclusion の3部構成から成る1パラグラフのエッセイを一応書くことができる。		パラグラフの構成を理解できず、Intro、Body、Conclusion の3部構成から成る1パラグラフのエッセイを書くことができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	英文を読む・書く・聞く・話すための力を伸ばす。辞書を活用して自力で英文読解や英作文ができることをめざす。英語を使った学習活動を通して社会や自分のことに目を向け、考える力をつける。				
授業の進め方・方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業では、できるだけ多くの英語に触れ、また英語での応答が求められる。 予習プリントを授業前に配布されるので、準備をして授業に参加すること。 ワークブックは、課題としての提出も求められるが、授業内容の確認をする際に授業中でも使用する。 				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> 英和辞典を持参すること。 予習・復習を十分にを行い、語彙力・構文理解力の強化と内容理解に努めること。 				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	Unit 08 Finding the Real Santa Claus Part 1 essay writing 1 (自由作文)	<ul style="list-style-type: none"> 内容やテーマについて説明できる。 付帯状況の表現の用法を知り、日本語に翻訳できる。 話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。 	
		2週	Unit 08 Finding the Real Santa Claus Part 2, 3 essay writing 2 (パラグラフの構成)	<ul style="list-style-type: none"> 内容やテーマについて説明できる。 付帯状況の表現の用法を知り、日本語に翻訳できる。 話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。 パラグラフの構成を説明できる。 	
		3週	Unit 08 Finding the Real Santa Claus Part 3, 4 essay writing 3 (Introduction)	<ul style="list-style-type: none"> 内容やテーマについて説明できる。 will have + doneの表現を知り、日本語に翻訳できる。 話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。 Introの構成を理解し、その英文を書くことが説明できる。 	
		4週	Unit 08 Finding the Real Santa Claus Part 4, 章末問題 essay writing 4 (Body1)	<ul style="list-style-type: none"> 内容やテーマについて説明できる。 will have + doneの表現を知り、日本語に翻訳できる。 話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。 Bodyの構成を理解し、その英文を書くことが説明できる。 	
		5週	Unit 08 Finding the Real Santa Claus 章末問題 essay writing 5 (Body2)	<ul style="list-style-type: none"> Unit 08の学習項目を説明できる。 Bodyの構成を理解し、その英文を書くことが説明できる。 	
		6週	essay writing 6 (Conclusion) essay writing 7 (one paragraph)	<ul style="list-style-type: none"> Conclusionの構成を理解し、その英文を書くことが説明できる。 one paragraphのessayを書くことができる。 	
		7週	Unit 09 The Underground Reporters Part 1	<ul style="list-style-type: none"> 内容やテーマについて説明できる。 省略の用法を知り、日本語に翻訳できる。 話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。 	

4thQ	8週	Unit 09 The Underground Reporters Part 2, 3	<ul style="list-style-type: none"> ・内容やテーマについて説明できる。 ・省略の用法を知り、日本語に翻訳できる。 ・話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。
	9週	Unit 09 The Underground Reporters Part 3, 4	<ul style="list-style-type: none"> ・内容やテーマについて説明できる。 ・仮定法現在の用法を知り、日本語に翻訳できる。 ・話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。
	10週	Unit 09 The Underground Reporters Part 4, 章末問題	<ul style="list-style-type: none"> ・内容やテーマについて説明できる。 ・仮定法現在の用法を知り、日本語に翻訳できる。 ・話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。 ・Unit 09の学習項目を説明できる。
	11週	Unit 10 Is the Internet Making us Stupid? Part 1	<ul style="list-style-type: none"> ・内容やテーマについて説明できる。 ・挿入の用法を知り、日本語に翻訳できる。 ・話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。
	12週	Unit 10 Is the Internet Making us Stupid? Part 2, 3	<ul style="list-style-type: none"> ・内容やテーマについて説明できる。 ・挿入の用法を知り、日本語に翻訳できる。 ・話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。
	13週	Unit 10 Is the Internet Making us Stupid? Part 3, 4	<ul style="list-style-type: none"> ・内容やテーマについて説明できる。 ・倒置挿入の用法を知り、日本語に翻訳できる。 ・話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。
	14週	Unit 10 Is the Internet Making us Stupid? Part 4, 章末問題	<ul style="list-style-type: none"> ・内容やテーマについて説明できる。 ・倒置挿入の用法を知り、日本語に翻訳できる。 ・話し手・書き手の意図に対して、音声・文字で適切な応答ができる。 ・Unit 10の学習項目を説明できる。
	15週	前学期末試験の	授業項目について達成度を確認する（ペーパー試験）。
16週			

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0